

【報告事項】

第1号報告 平成28年度事業報告

1. 平成28年度事業報告にあたって

平成22年度以降の経営危機をうけ、各種の改革を検討してきたが、平成28年度からは「自立運営」の方針を定め、それに向かって態勢づくりに取り組んだ。

農場を法人化することについては当面見送ることとし、従来の農場の形態を維持しながら収益を拡大していく方策を様々検討実施していった。

また平成27年度から28年度にかけて、定年などによる退職者があったため、平成28年度には新たに若手職員の雇用も行った。

2. 基本方針

以下の基本方針に沿って事業を行った。

- (1) 認定農業者の認定に基づく、新たな体制作り
- (2) 農場生産および販路の拡大
- (3) 行政との連携強化
- (4) 資産の有効活用（運営資金対策の実施）

3. 実施内容

(1) 諸行事の実施

第1回理事会	平成28年5月30日
定期総会	平成28年6月18日
第2回理事会	平成28年6月18日
第3回理事会	平成29年3月 7日

(2) 認定農業者としての事業

- ・日本政策金融公庫へ融資の依頼（打ち合わせを行い、公益社団に対しても融資可能である旨返答を得ている）。融資目的は、小松菜生産拡大や干し芋生産拡大を目的とした施設整備としている。
- ・農の雇用事業を活用した職員の採用を行った（1名）。平成28年8月～30年7月
- ・青年就農給付金を受給した学生を、学校の職員として雇用した（1名）。
- ・畜産クラスター事業への参加を検討した（定款の問題でまだ実現はしていない）。

(3) 人事・職員の雇用について

平成27年度	退職者数：3名	新規雇用：0名
平成28年度	退職者数：2名	新規雇用：4名

公益目的事業

教育事業（公益目的事業1）

（1）教育関係

①学生の教育内容（附属明細書 表1～3）

- a. 「教育改善計画」（技術習得支援事業）に基づく教育内容の改善（昨年同様、三年の第二期）
 - ・大規模農業に対応した教育の実施
 - ・農業機械操作教育の充実
 - ・GAP教育の充実
 - ・農業IT化への対応

②研修生の教育内容（表4～6）

- a. 全国農業会議所からの研修参加を受け入れた（1週間～3か月）。
- b. 就農準備校：昨年に引き続き「農業入門」「有機農業」コースを実施した。
- c. 国際農業者交流協会の研修、子どもたちの農業体験を実施した。

③学生募集（表7）

学園HPと学校見学会、農業人フェアに重点を置いた募集活動を行った（学園HPは内省）。

＜学生数の変化＞	平成27年度	33名
	平成28年度	40名

④就農支援、卒業後フォロー体制（表8～9）

- a. 青年就農給付金を軸にした就農相談を継続して実施し、就農率アップを目指した。茨城県農林振興公社との連携を継続して行った（農業人フェア、農業やってみませんかセミナー）。
- b. 卒業生のリサーチ（フェイスブック、懇親会）および会合（2回）を行い、ネットワークの構築に向けた端緒を開いた。在校生の就農および学生募集への効果を狙う。
- c. 自治体との協定

各自治体からの申し出により、新規就農者の連携協定を結んでいる。

水戸市、茨城町、に続き平成28年度には城里町とも協定を結んだ。

⑤寮生活について

建物の老朽化により生活環境が徐々に悪化している。特に男子浴室が傷んでいる。資金調達が困難なため、今年度は現状維持となった。

（2）農場

- ①契約栽培：葉菜を中心とした契約栽培を平成27年度より実施。平成28年度末にハウス5棟を建設した（半額補助）。平成29年度から稼働予定。
- ②養牛部門の改善：乳牛24頭を売却し、酪農の縮小を図った。現在14頭体制を維持している。代わりに肉牛の繁殖を拡大、親牛が現在15頭。
- ③養豚の受託肥育：鈴木牧場との取引による、豚の受託肥育事業を継続して行っているが、提供される子豚の罹病率が高く歩留まりが悪い結果となった。

- ④直売所運営の見直し：農業総合研究所との新規取引開始等も踏まえ、外部出荷先の見直しを行った。また、店頭の商品ぞろえ充実のため商品の外部調達（市場など）を強化した。毎月25日のニコニコセールに加え、毎月1日にサービスとしてお米の配布を開始した。
- ⑤野菜部門に契約とは別の外部出荷をスタートさせた。農場収入と教育両面での効果を図った。
- ⑥機械導入（補助金）：播種機、収穫機などを平成28年度に導入した。茨城県の補助金1/2の活用。

<畜産飼養頭数>

	乳牛	肉牛	預託肥育豚	学園豚
平成27年度	34	24	1,100	70
平成28年度	14	32	1,080	55

(3) 施設・機械の維持

- ①教室、体育館など教育関連施設は現状維持で問題なし。
- ②寮関連は資金不足のため現状維持。
- ③農業施設関連
 - ・製茶工場・・・契約栽培野菜用調製施設に転用を行った。
 - ・水耕ハウス・・・チラーをはじめ施設老朽化によるトラブルが発生中。平成28年度は更新は行わなかった。
 - ・水田・・・井戸の改修など定期的な出費がある。乾燥機、コンバインなど本年度は修繕なく収まった。
 - ・堆肥舎・・・改修のための調査・検討を行った。平成29年度に改修予定。

収益目的事業

(1) 不動産貸借事業（収益目的事業1）

学園敷地内にある空き住宅（2軒）を、貸借希望のあった一般の人に貸し出した。

(2) 農場生産事業（収益目的事業2）

農業教育の重要な位置を占める、実践的な農業技術習得のために農場実習を行っている。学生の農場実習生産物の30%を収益事業として計上した。

(3) 直売所事業（収益目的事業2）

農業の6次産業化を進めるために、農場生産物販売のための直売所を経営している。ここでの売り上げ収入は販売事業としている。

附属明細書

表1 科別、学科別の学生数 (単位：人)

	年度初 学生数	退学者		転入学	年度末 学生数	備 考
		病気	その他			
専修科	15	0	2	0	10	
本 科	2年	9	0	0	9	
	1年	13	0	1	12	
高等科	3年	2	0	1	1	
	2年	1	0	0	1	
	1年	1	0	0	1	
合 計	41	0	4	0	34	

表2 教育実績 (単位：時間)

区 分	必修科目	専門専攻科目	専門選択科目	合計
専 修 科	306	1289	734	2329
本 科2年	400	1173	730	2303
本 科1年	420	1461	377	2258
高等科3年	454	1820	362	2636
高等科2年	504	2082	62	2648
高等科1年	472	2146	0	2618

表3 学校行事

行 事 名	対 象	期 日	備 考
入学式	全	4/5	
さなぶり	全	6/2	
富士山登山	本1、高2、専(希)	7/13、14	
9月卒業式	専(10月入学生)	9/24	
10月入学式	専(10月入学生)	10/3	
収穫祭	全	11/23	
プロジェクト発表会	本2、高3	12/2	
愛宕山強歩	専、本1、高1	2/2	
筑波強歩	専、本1、高1、	3/9	
卒業式	全	3/24	

註：全一全学年、専一専修科、本一本科、高一高等科

表4 農業体験

(単位：人)

体験の種類	今年度実績	前年度実績	体験学習内容
稲作	1228人	1364人	田植え、稲刈り、脱穀等
野菜	1510	1467	サツマ芋掘り、野菜収穫等
果樹	0	73	ブルーベリー摘み等
農産加工	461	351	パン、ジャム、バター作り等
畜産	60	573	乳牛の世話等
直売所	10	0	商品販売他
合計	3269	3828	

表5 就農準備校

(単位：人)

コース名	今年度実績	前年度実績	備考
農業入門	32	58	3ヶ月(6回)×4回
有機農業	40	59	6ヶ月(12回)×2回
合計	72	117	

「農業入門」は平成27年度から実施。平成26年度は「有機野菜」で実施

表6 チャレンジ the 農業体験・研修

(単位：人)

コース名	今年度実績	前年度実績	備考
短期農業体験	77	207	1週間
中期農業研修	7	16	1ヶ月
農業実践	5	4	3ヶ月
計	89	227	

表7 学生募集

項目	実績数	
学校訪問	(茨城、東京、神奈川、栃木、大阪)	35校
学校見学会	6回	53組81人
新・農業人フェア (主催：リクルートジョブス)	東京(4回)、大阪(2回)	109人
新・農業人フェア in いばらき (主催：茨城県農林振興公社)	水戸(2回)、つくば(1回) 行方(1回)、古河(1回)	16人
農業やってみませんかセミナー (主催：茨城県農林振興公社)	品川(2回)	40人

表8 卒業生の動向

(単位：人)

	卒業 生数	就農	進学又は 継続研修	就職		その他
				農業関連	その他	
専修科	13	9	3	0	1	0
本科	9	6	0	0	1	2
高等科	1	0	1	0	0	0
合計	23	15	4	0	2	2

表9 媒体別入学実績（平成28年度）

(のべ集計。単位：人)

農フェア	農フェア いばらき	学校見学 会	個別見学	チャレンジ 農業体験	資料請求	その他
0	0	9	0	1	3	0

表10 施設・機械の更新計画書

部門	名称	取得日	取得価額（円）	更新時期
稲作	ハーベスター	1983/1203	980,000	2018
	ライムソワー	1983/1203	188,000	2018
	ドライブハロー	1988/0123	300,000	2020
	クボタトラクター	1989/1001	1,957,000	2018
	田植え機	1988/0123	378,000	2020
	乾燥機	1995/0401	3,527,676	2020
養牛	ロールベラー	1991/1018	3,708,412	2018
	ホイールローダー	1998/0401	5,460,000	2018
	ホイールローダー	2000/0401	3,087,000	2018
水耕	水耕栽培付帯設備	1990/1024	10,000,000	2017
野菜	カマリ農機トラクター	1992/0313	2,060,000	2018
農産加工	パン用オーブン	—	2,000,000	2018
栄養	回転釜	1986/1210	673,000	2018
	立体炊飯器	1986/1210	367,000	2018
	食器洗浄機	1988/1221	900,000	2020
共用・総務	イスズフラットロー	1997/0401	2,172,425	2022
	イスズダンプ	1997/0401	2,368,525	2022
	ハイエース	2003/0401	1,830,000	2018
	男子浴室	1966/0204	14,099,000	2022

2017年 10,000,000円

2018年 22,310,412円

2020年 5,105,676円

2022年 18,639,950円

以上